

**平成28年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）
実績報告書（研究成果公開促進費）「研究成果公开发表（B）」**

平成 28年 12月 13日

独立行政法人 日本学術振興会理事長 殿

課題番号	1	6	H	P	0	0	4	1
------	---	---	---	---	---	---	---	---

主催団体 所在地	〒600-8107 京都府京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町167 ビューフォート五条烏丸3階		
主催 団体名	公益社団法人	代表者職名	代表理事
	日本放射線技術学会	代表者氏名	小倉 明夫 印

平成28年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究成果公開促進費）「研究成果公开发表（B）」について、下記のとおり補助事業の実績を報告します。

シンポジウム・ 学術講演会等名	平成28年度市民公開講座 X線CT検査とマンモグラフィー －安心して検査を受けるために－				
実施主体 (支部等)	広報・渉外委員会	代表者職名	広報・渉外委員長		
		代表者氏名	上田 克彦		
開催日	平成 28年 11月 26日 (土) ～ 平成 28年 11月 26日 (土) (1 日間)				
会場名	広島グランドインテリジェントホテル		開催地：広島		
参加者数 (※ 交付申請書に記載した参加予定者数)	43 人		/		
	(150 人) ※				
費目別収支決算表					
実支出額の 使用内訳	合計	会場借料	消耗品費	人件費・謝金	その他
	1,200,000円	432,348円	12,146円	9,000円	746,506円
交付申請書 に記載した 補助金の 使用内訳	合計	会場借料	消耗品費	人件費・謝金	その他
	1,200,000円	220,000円	70,000円	30,000円	880,000円

シンポジウム・学術講演会等の目的	<p>2011年3月11日の東日本大震災に伴い発生した福島第一原子力発電所事故により、「放射能・放射線」に関する国民の注目は急激に高まった。事故後5年が経過しようとしている現在も放射線被ばくに関する真偽不明の数多くの情報が飛び交うなど、医療被ばくを含めた放射線被ばくに対する不安が続いている。</p> <p>医療被ばくに対して国民が不安を抱く原因は、「医療被ばくによって受ける便益とリスクを正しく判断できていない」ことにある。医療被ばくは、患者の病気の診断、治療につながるものが求められており、診断に必要な最小限度の被ばく線量となるよう管理されている。その結果、患者は医療被ばくによるデメリットよりも、病気の診断、治療につながるという大きな利益を享受するが、福島原発事故による被ばくには利益は存在せず、“リスク（本来は避けられるべき不要な被ばく）”のみが存在する。本講座では、一般市民を対象に「医療被ばくに対する正しい考え方」をテーマとし、マスメディアやインターネットで話題となっている子どものCT検査とマンモグラフィー検診を安心して受けていただくために必要な基礎知識を教授することを目的とした。</p>
シンポジウム・学術講演会等の概要	<p>本講座は4つの講演、および総合討論によって構成した。</p> <p>講演1では、CT検査、マンモグラフィーに関する基礎的な内容として、主にCT検査やマンモグラフィー検診で使用する装置の特徴や仕組みについての解説を行った。</p> <p>講演2ではCT検査の内容やこれに伴う放射線被ばくの実態、また、診療放射線技師が取り組んでいる医療被ばくの最適化について解説を行った。</p> <p>講演3では、乳がん診断における乳房X線撮影（マンモグラフィー）の位置づけや検査内容、また、検診のメリットと被ばくによるデメリット等について、マンモグラフィーに関する最新情報を教授した。</p> <p>講演4では、昨今のCT検査によって小児がんや白血病の発症率が上昇するなど報道を踏まえ、最新の疫学調査によって得られた研究成果から明らかになってきた小児と成人の被ばく影響の違いや小児CT検査のメリット、デメリットについて教授した。</p> <p>総合討論では4つの講演を踏まえ、参加者と医療被ばくに対して感じている疑問や不安について意見を交換し、市民一人一人が医療被ばく理解の一助となる情報を提供することを目的とした。</p>

主催団体の 事務 連絡者	<p>〒600-8107 京都府京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町167 ビューフォート五条烏丸3階</p> <p>TEL: 075-354-8989</p> <p>所属・職名 公益社団法人 日本放射線技術学会 (内線 なし)</p> <p>事務局 FAX: 075-352-2556</p> <p>氏名 宮高 睦 E-mail: master@jsrt.or.jp</p>
--------------------	---